

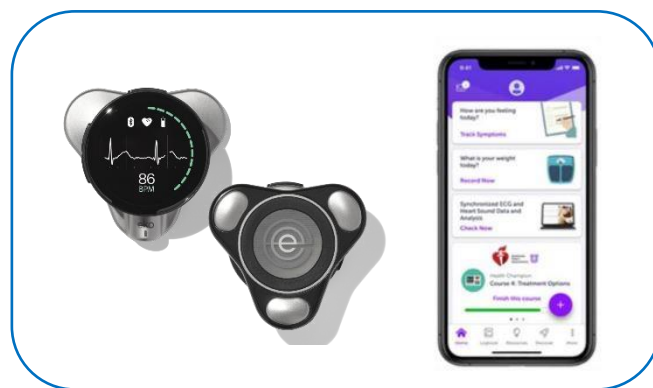
アステラス製薬**Eko 社のデジタル聴診器 Eko CORE 500™ を
心不全に対するデジタルセラピューティクスとして
Welldoc 社と共同開発中の Z1608 に統合することで合意**

アステラス製薬株式会社(本社:東京、代表取締役社長 CEO:岡村 直樹、以下「アステラス製薬」)は、Eko Health Inc.(本社:米国カリフォルニア州、Co-Founder and CEO: Connor Landgraf、以下「Eko 社」)と、Eko 社の最新のデジタル聴診器 Eko CORE 500™ および AI を活用した心血管疾患検出ソフトウェアについてグローバル供給・ライセンス契約を締結しました。アステラス製薬は Welldoc, Inc.(本社:米国メリーランド州、以下「Welldoc 社」)と協働し、Eko 社のテクノロジーと Welldoc 社のケイパビリティを活用して、デジタルセラピューティクス(Digital Therapeutics :DTx)に統合し、心不全患者向けで非侵襲性の Z1608 の開発を進めています。アステラス製薬は Z1608 について、米国食品医薬品局(FDA)の認証取得を目指しています。

アステラス製薬は、今後の研究を通じて、食事や活動、服薬アドヒアランスなどの健康データに基づく自動コーチングに加え、心不全に関連する主要な生理学的バイオマーカーの遠隔モニタリングに Z1608 を活用することで、急性心血管イベントの発生頻度を低減できるかどうかを評価します。Z1608 は、患者さんを治療の中心に据えて、自身が医療関係者と連携して健康管理上の重要な役割を果たすことができるように設計されています。

このほど FDA から認証された Eko CORE 500™ は、3 誘導心電計測機能を備えたデジタル聴診器です。取得した生理学的データを Eko 社独自のアルゴリズムによって処理し、心血管機能の障害について注視すべき点を特定します。アステラス製薬は、Eko 社のテクノロジーと Welldoc 社の確立された DTx に関するケイパビリティを統合します。また、Z1608 内で閲覧できる疾患啓発のコンテンツは米国心臓協会(American Heart Association: AHA)から提供されます。

AHA から提供される疾患啓発コンテンツは、患者さんやその家族、介護者が、心臓の健康に影響を与える重要な要因に焦点を当てたライフスタイルを計画できるように支援します。心臓の健康に影響を与える重要な要因には、運動、健康的な食事、体重管理、ストレス管理、禁煙といった、心不全患者にとって重要なものが含まれています。



Eko 社のデジタル聴診器 Eko CORE 500™(左)と Z1608 のイメージ

心不全において、非侵襲的で使いやすい DTx に対する高いアンメットメディカルニーズがあります。心不全は、世界中で 6,400 万人以上が罹患している世界的な健康問題です¹。米国では、心不全の罹患数は約 690 万人(2020 年推計)であり、高齢化と人口増加により、2030 年には 24%増の 850 万人近くになると予測されています^{2,3}。

アステラス製薬の経営戦略担当 CStO(Chief Strategy Officer)である Adam Pearson は、「私たちは経営計画 2021」において、『Rx+®ビジネスの進展』を戦略目標の一つに掲げています。Eko 社と Welldoc 社との製品を組み合わせることにより新たなソリューションを提供することで、心不全の患者さんへ新たな『価値』を届けていきます」と述べています。

Eko 社の Co-founder and CEO である Connor Landgraf は、「心不全患者さんの在宅ケアには、患者データを正確に測定する必要があります。アステラス製薬との提携により、当社のベストインクラスの製品であるデジタル聴診器 CORE 500™と AI を活用した循環器疾患検出ソフトウェアを Welldoc 社の確立された DTx と統合することで、心不全がリアクティブではなく、プロアクティブに管理される未来に近づきます。私たちはパートナーと協力することで、自宅と医療機関のケアギャップを埋めるため、心疾患治療の変革に向けて大きな一歩を踏み出しています」と述べています。

Welldoc 社の CEO である Kevin McRaith は、「心不全と診断された患者さんと医療提供者は、日常生活にシームレスに統合され、自己管理をサポートしてくれるデータ駆動型の臨床判断を促すソリューションを求めています。Welldoc 社は、アステラス製薬と協働し、当社の慢性疾患ケア・プラットフォームを活用することで、データに基づく斬新な洞察と個別化されたコーチングを提供する、ファーストインクラスのデジタルソリューションを構築できることを嬉しく思います」と述べています。

以上

アステラス製薬株式会社について

アステラス製薬は、世界 70 カ国以上で事業活動を展開している製薬企業です。最先端のバイオロジーやモダリティ/テクノロジーの組み合わせを駆使し、アンメットメディカルニーズの高い疾患に対する革新的な医薬品の創出に取り組んでいます(Focus Area アプローチ)。さらに、医療用医薬品(Rx)事業で培った強みをベースに、最先端の医療技術と異分野のパートナーの技術を融合した製品やサービス(Rx+®)の創出にも挑戦しています。アステラス製薬は、変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの「価値」に変えていきます。アステラス製薬の詳細については、(<https://www.astellas.com/jp/>)をご覧ください。

Eko Health Inc.について

Eko 社は、デジタル聴診器や、患者・医療従事者向けのソフトウェア、AI を活用した解析などにより、心疾患および肺疾患の検出・モニタリング方法を深化させるデジタルヘルス企業です。FDA が承認した同社のプラットフォームは、世界中で多くの医療従事者が使用しています。Eko 社の詳細については、(<https://www.ekohealth.com>)をご覧ください。

Welldoc, Inc.について

Welldoc 社は、慢性期医療に革新をもたらすデジタルヘルス企業です。Welldoc 社の包括的な慢性疾患ケア・プラットフォームは、糖尿病、高血圧、心不全、行動医学、体重管理など複数の疾患に対する支援を提供します。詳細については、(www.welldoc.com)をご覧ください。

注意事項(アステラス製薬)

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

お問い合わせ先:

アステラス製薬株式会社

広報

TEL: 03-3244-3201

1: GBD 2017 Disease and Injury Incidence and Prevalence Collaborators. Global, regional, and national incidence, prevalence, and years lived with disability for 354 diseases and injuries for 195 countries and territories, 1990-2017: a systematic analysis for the Global Burden of Disease Study 2017. *Lancet*. 2018;392(10159):1789-858.

2: Benjamin EJ, Virani SS, Callaway CW, Chamberlain AM, Chang AR, Cheng S, et al. Heart disease and stroke statistics-2018 update: a report from the American Heart Association. *Circulation*. 2018;137:e67-e492.

3: Heidenreich PA, Albert NM, Allen LA, Bluemke DA, Butler J, Fonarow GC, et al. Forecasting the impact of heart failure in the United States: a policy statement from the American Heart Association. *Circ Heart Fail*. 2013 May;6(3):606-19.